

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 6 日 (2007.12.6)

【公表番号】特表 2007-526891 (P2007-526891A)

【公表日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【年通号数】公開・登録公報 2007-036

【出願番号】特願 2006-518502 (P2006-518502)

【国際特許分類】

**A 6 1 K 39/395 (2006.01)**

**A 6 1 P 35/00 (2006.01)**

**G 0 1 N 33/53 (2006.01)**

**G 0 1 N 33/574 (2006.01)**

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 P 35/00

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/574 A

C 0 7 K 16/28 Z N A

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 10 日 (2007.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

F r i z z l e d ホモログ 10 ( F Z D 1 0 ) タンパク質に対する抗体又はフラグメント、及び薬学的に許容される担体又は賦形剤を含む、F r i z z l e d ホモログ 10 ( F Z D 1 0 ) に関連する疾患を治療又は予防するための医薬組成物。

【請求項 2】

F Z D 1 0 に関連する疾患が、滑膜肉腫、結腸直腸癌、胃癌、慢性骨髄性白血病、及び急性骨髄性白血病からなる群より選択される、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 3】

抗体がポリクローナル抗体又はモノクローナル抗体である、請求項 1 又は 2 記載の医薬組成物。

【請求項 4】

抗体が、配列番号 1 に示されるアミノ酸配列の少なくとも 5 個のアミノ酸残基を含むペプチドに対して誘起されたものである、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

抗体が、配列番号 1 に示されるアミノ酸配列の少なくとも 43 ~ 56 番、61 ~ 72 番、156 ~ 169 番、157 ~ 170 番、157 ~ 172 番、161 ~ 173 番、174 ~ 191 番、189 ~ 202 番、214 ~ 225 番、又は 1 ~ 225 番のアミノ酸残基を

含むペプチドに対して誘起されたものである、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

F r i z z l e d ホモログ 10 ( F Z D 10 ) タンパク質に対する抗体又はフラグメントを含む、F r i z z l e d ホモログ 10 ( F Z D 10 ) に関連する疾患を診断又は予後診断するためのキット。

【請求項 7】

F Z D 10 に関連する疾患が、滑膜肉腫、結腸直腸癌、胃癌、慢性骨髄性白血病、及び急性骨髄性白血病からなる群より選択される、請求項 6 記載のキット。

【請求項 8】

抗体がポリクローナル抗体又はモノクローナル抗体である、請求項 6 又は 7 記載のキット。

【請求項 9】

抗体が、配列番号 1 に示されるアミノ酸配列の少なくとも 5 個のアミノ酸残基を含むペプチドに対して誘起されたものである、請求項 6 ~ 8 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 10】

抗体が、配列番号 1 に示されるアミノ酸配列の少なくとも 43 ~ 56 番、61 ~ 72 番、156 ~ 169 番、157 ~ 170 番、157 ~ 172 番、161 ~ 173 番、174 ~ 191 番、189 ~ 202 番、214 ~ 225 番、又は 1 ~ 225 番のアミノ酸残基を含むペプチドに対して誘起されたものである、請求項 6 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 11】

F r i z z l e d ホモログ 10 ( F Z D 10 ) に関連する疾患を診断又は予後診断するためのキットの製造における、配列番号 1 に示されるアミノ酸配列の少なくとも 5 個のアミノ酸残基を含むペプチドに対して誘起された抗体又はフラグメントの使用。

【請求項 12】

F r i z z l e d ホモログ 10 ( F Z D 10 ) に関連する疾患を治療又は予防するための組成物の製造における、配列番号 1 に示されるアミノ酸配列の少なくとも 5 個のアミノ酸残基を含むペプチドに対して誘起された抗体又はフラグメントの使用。

【請求項 13】

配列番号 1 に示されるアミノ酸配列の少なくとも 5 個のアミノ酸残基を含むペプチドに対して誘起された抗体又はそのフラグメント。

【請求項 14】

配列番号 1 に示されるアミノ酸配列の少なくとも 43 ~ 56 番、61 ~ 72 番、156 ~ 169 番、157 ~ 170 番、157 ~ 172 番、161 ~ 173 番、174 ~ 191 番、189 ~ 202 番、214 ~ 225 番、又は 1 ~ 225 番のアミノ酸残基を含むペプチドに対して誘起された請求項 13 記載の抗体又はそのフラグメント。

【請求項 15】

ポリクローナル抗体又はモノクローナル抗体である、請求項 13 又は 14 記載の抗体又はそのフラグメント。

【請求項 16】

モノクローナル抗体が、マウス - マウスハイブリドーマ 5 F 2 T K 10 P 2 ( 受託番号 F E R M B P - 0 8 6 2 8 ) から産生されるものである、請求項 15 記載の抗体又はそのフラグメント。